

競技注意事項（案）

1. 規則について

本競技会は 2010 年度(財)日本陸上競技連盟及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場について

- (1) 練習は補助競技場で行うこと。陸上競技場での練習は一切禁止とする。また投擲競技が行われている時には、競技に支障をきたさないように練習すること。
- (2) 投擲練習は禁止する。練習は 2 次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

3. 招集について

- (1) 1 次招集は競技場の室内練習場内の競技者係にて行う。
- (2) 1 次招集時刻は以下の通りである。選手本人がこれを行う。また、この時にナンバーカードをつけたユニフォームを提示すること。

種 目	開 始 時 刻	完 了 時 刻
トラック・リレー種目	競技開始 50 分前	競技開始 30 分前
フィールド種目	競技開始 60 分前	競技開始 40 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 70 分前

- (3) 2 次招集は現地にて行う。トラック種目は競技開始 10 分前、フィールド種目は 30 分前とする。なお、5000m、3000mSC の 2 組目以降については、直前の組のスタート後に次の組の招集を行う。
- (4) リレー種目のオーダー用紙は、招集開始の 1 時間前までに、競技者係に提出すること。リレーの招集は 4 人とも受けること。
- (5) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届を競技者係に提出すること（重複出場届は競技者係にて配布する。）尚、出場種目の重複により 1 次招集に来られない場合は代理人が 1 次招集を受けなければならない。
- (6) 棄権は原則として認めない。しかし、やむを得ず棄権する場合は競技者係に連絡すること。

4. 当日エントリーについて

- (1) 当日参加者は出場を希望する種目が行われる日の招集開始 2 時間前から 1 時間 30 分前までに、競技場室内練習場内の競技者係横、当日エントリー受付に申し出ること。開門時間前から当日エントリーを受け付ける種目に関しては競技場正面玄関前にて行う。
- (2) 当日参加者も 1 次招集を必ず受けること。
- (3) 当日参加料は 1 種目 1 名 1000 円とする。
- (4) 4×100mR、4×400mR、棒高跳の当日エントリーは行わない。
- (5) 競技運営上の都合により、当日エントリーの人数は制限するので注意すること。
100m など同種目で開始時刻が異なる種目のエントリーは、最初の組の開始時刻に合わせてエントリーすること。

5. ナンバーカードについて

- (1) 平成 22 年度関西学生陸上競技連盟登録者は連盟登録のナンバーカード
高体連登録者は高体連登録のナンバーカード
陸協登録者は陸協登録のナンバーカード
を胸部、背部に付けること。（但し、走高跳、棒高跳についてはどちらかでよい）
- (2) トラック種目については競技者係で配布する腰ナンバーカードを右腰部に明瞭につけること。また 1500m、5000m、10000m、3000mSC については腰の両側につけること。尚、このナンバーカードはゴール後直ちに回収する。途中棄権の場合も返却すること。

6. トラック種目について

- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
- (2) 全天候舗装のため選手は 9mm以下のスパイクピンを使用すること。
- (3) トラック種目は電気計時（1/100 秒）にて行う。但し、機器の故障などトラブルが生じた場合、手動計時（1/10）に切り替える場合がある。

7. 不正スタートについて

- (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
- (2) スタートの号令は英語で行う。
- (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。
- (4) 不正スタートの判定の参考資料として、ビデオ撮影を行う場合がある。

8. フィールド種目について

- (1) フィールド種目の試技は 3 回とする。
- (2) 全天候舗装のため選手は 9mm以下のスパイクピンを使用すること。但し、走高跳・やり投については **12mm** 以下とする。
- (3) 投擲種目はペグ計測とする。練習投擲は原則として 2 投までとする。ただし投擲審判主任が時間に考慮した上で変更する場合がある。
- (4) フィールド種目において 2 回目以降を棄権する時は審判員にその旨を申し出ること。
- (5) 男子の砲丸投、円盤投、ハンマー投に関しては大学生・一般者の試技を先に行い、高校生をその後とする。
- (6) 持参したやりを競技で使用する場合は、**競技開始 1 時間 30 分前に北側用器具庫横にて行う検定に合格したもの**に限り使用を認める。
- (7) やり・ポールの輸送を希望する者は 11 日(金)13 時 00 着で競技場に送ること。また返送は各自で手配すること。
- (8) 三段跳の踏切板の位置に関しては男子のみ試合当日に審判・選手で協議した上で決定する。また、女子は 9mとする。
- (9) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。尚、ここに記載されている高さより低い高さでの試技は、原則として行わない。

	種目	ピット	練習	試技	
男子	走高跳	A ピット	2m00	1m85	以後 5cm 刻み
			1m80		
		B ピット	1m80	1m60	
			1m60		
	棒高跳	A ピット	4m30	4m40	以後 20cm 刻み ※4m80以降10 c m刻み
			B ピット	4m00	
		2m60			
女子	走高跳	A ピット	1m60	1m40	以後 5cm 刻み
			1m35		
	棒高跳	A ピット	3m40	2m90	以後 10cm 刻み
			2m80		

- (10) 円盤投、ハンマー投げは補助競技場で行う。

9. その他

- (1) 使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用すること。

- (2) 競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- (3) グラウンド以外にはスパイクで立ち入らないこと。
- (4) 器具の破損・紛失については、その選手及び補助員の所属団体、学校より必要代金を徴収する場合がある。
- (5) 競技場のトラック・フィールド内には、審判員・選手・補助員以外の立ち入りを禁止する。
- (6) 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。またその際、大会本部前の通行は禁止する。
- (7) 陸上競技者としてのマナーを著しく逸脱した行為がみられた場合、その選手の所属団体、学校の以後の競技を中止させる。
- (8) 参加者の競技中の発病・負傷に対して、主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- (9) 関西学生陸上競技連盟加盟校は割り当てられた学生審判・補助員の派遣をしなければならない。
- (10) フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用後必ず撤去し持ち帰るか所定の場所へ捨てること。
- (11) 開門時間は両日 8 時 30 分、閉門時間は両日競技終了 30 分後とする。
- (12) 当日エントリーの人数によっては競技日程の調整を行う場合がある。
- (13) 車での来場はできるだけ控え、**公共の交通機関を利用し来場すること。**
- (14) 1 日目、2 日目ともに全競技終了後、主催者の指示に従い速やかに競技場から退出すること。
- (15) 全競技終了後、各団体は周りの清掃をしなければならない。ペットボトルのみ競技場 1 階の受付で回収するが、その他のゴミは各自で持ち帰ること。
- (16) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切責任を負わない。
- (17) 芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- (18) **競技場内、及び招集場所で携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。**
- (19) **雨天練習場は招集場所として使用するため、シート等を使つての場所取りはしないこと。また飲食禁止とする。**
- (20) 横断幕及びのぼりはバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。テープ等は使用せず、競技終了後すみやかに外すこと。
- (21) 集団応援はバックスタンドとサイドスタンドのみ認める。
- (22) その他、不明な点は主催者まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟